

モンゴルと日本の外交関係樹立45周年記念オープニング式典  
(バトツェツェグ外務副大臣挨拶)

尊敬する高岡正人大使閣下、  
尊敬するご来賓の皆様、  
お集まりの皆様、

モンゴルと日本の外交関係樹立45周年記念オープニング式典にあたり、私たちの招待を受けてお集まりいただいた皆様に、本日のご挨拶を申し上げます。

モンゴルと日本の両国は45年前に外交関係を樹立して以来、その関係は途切れることなく前進し、今日、両国国民の全体の權益、共通の価値観、相互信頼に立脚し、戦略的パートナーシップのレベルで成功裡に発展しています。この 貴<sup>とうと</sup>い関係を発展させるために心から尽力し、交流の歴史を創ってきた国の指導者と社会活動家、先輩外交官の皆様に 頭<sup>こうべ た</sup>を垂れて敬意を表します。

外交関係樹立後、平常かつ安定的に前進してきたモンゴルと日本の関係は、我が国が民主化・市場経済移行を行なった1990年代より力強く発展し始めました。日本の海部俊樹総理大臣がモンゴル国の改革支援者の先頭を切って1991年に我が国を訪問され、日本国政府がモンゴル支援国会合を世界銀行との共催により東京で10回開催したことは、歴史にそのページをしっかりと残しました。皆様からのご支援・援助がモンゴル国の発展に貴重な貢献をし続けていることに、私たちは深く感謝するとともに、幸せを共有し苦しみを分かち合う畏友であることを常に望んできました。

モンゴルと日本の関係は1997年より「総合的パートナーシップ」、2010年より「戦略的パートナーシップ」のレベルで発展しています。相互の訪問する回数が増え、協力の法制度的根拠は強化され、経済連携協定や「戦略的パートナーシップのための中期行動計画」が締結されました。私たちは今後、関係の成果をより厚くし、地域において互いにかけてがえのない重要なパートナー国であり続けます。

モンゴル国政府は、外交関係樹立45周年記念行事組織委員会を任命して業務を開始させました。私たちは先頃、委員会第一回会合を開き、本年、モンゴルと日本の関係を広報紹介するための45の行事を開催することを決定したところです。これらの業務を我が国国民が積極的に支援し、組織委員会と緊密に協力していることは極めて光栄なことです。

モンゴルと日本の関係発展に寄与されている皆様に心からの感謝の意を表明するとともに、周年祝賀行事、写真展の開会をここに公式に宣言いたします。

それではこのグラスを、モンゴルと日本の国民の友好親善と、両国の戦略的パートナーシップのために、またここにお集まりの皆様のご健勝とご多幸のために掲げましょう。